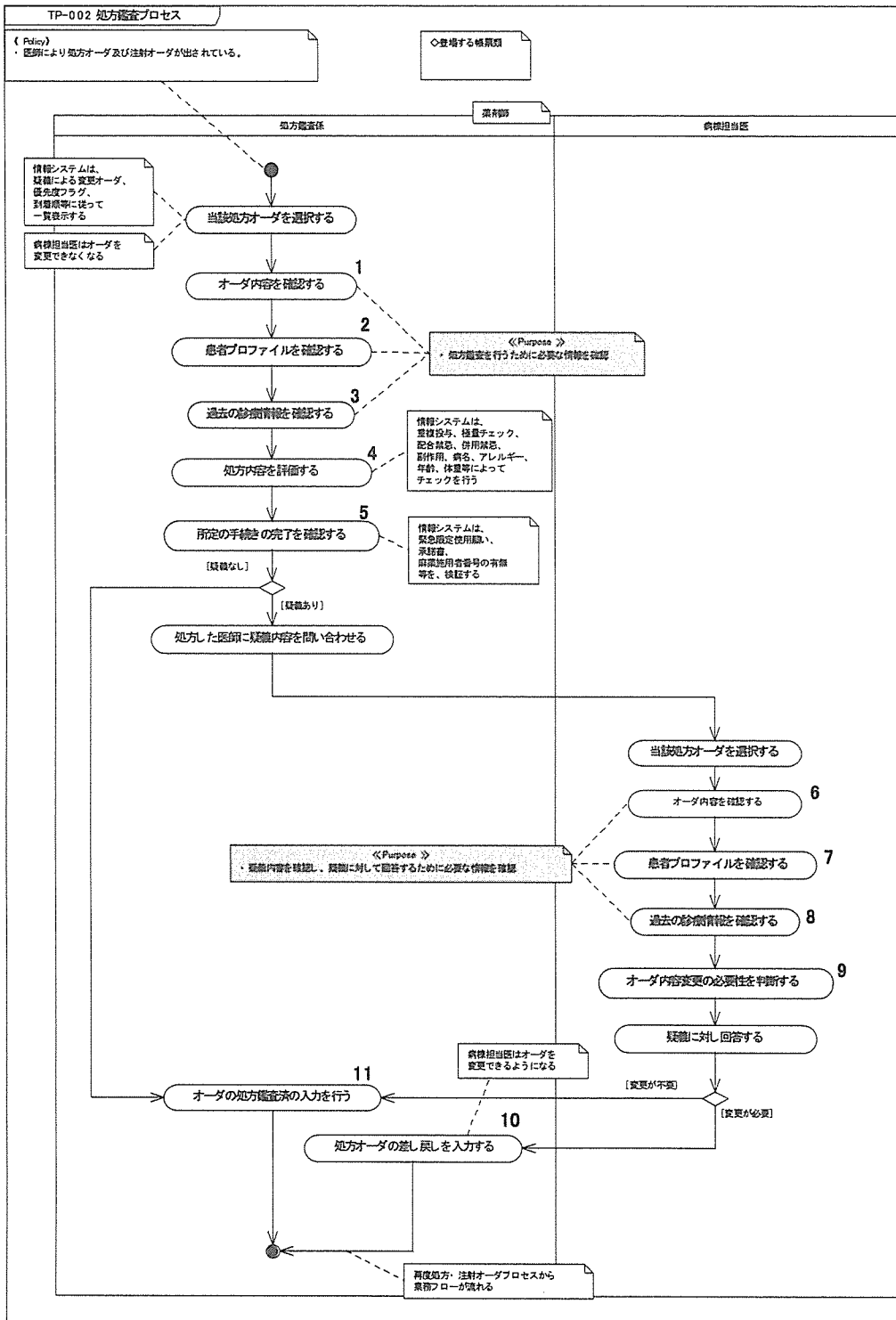


TP-002 処方鑑査プロセス



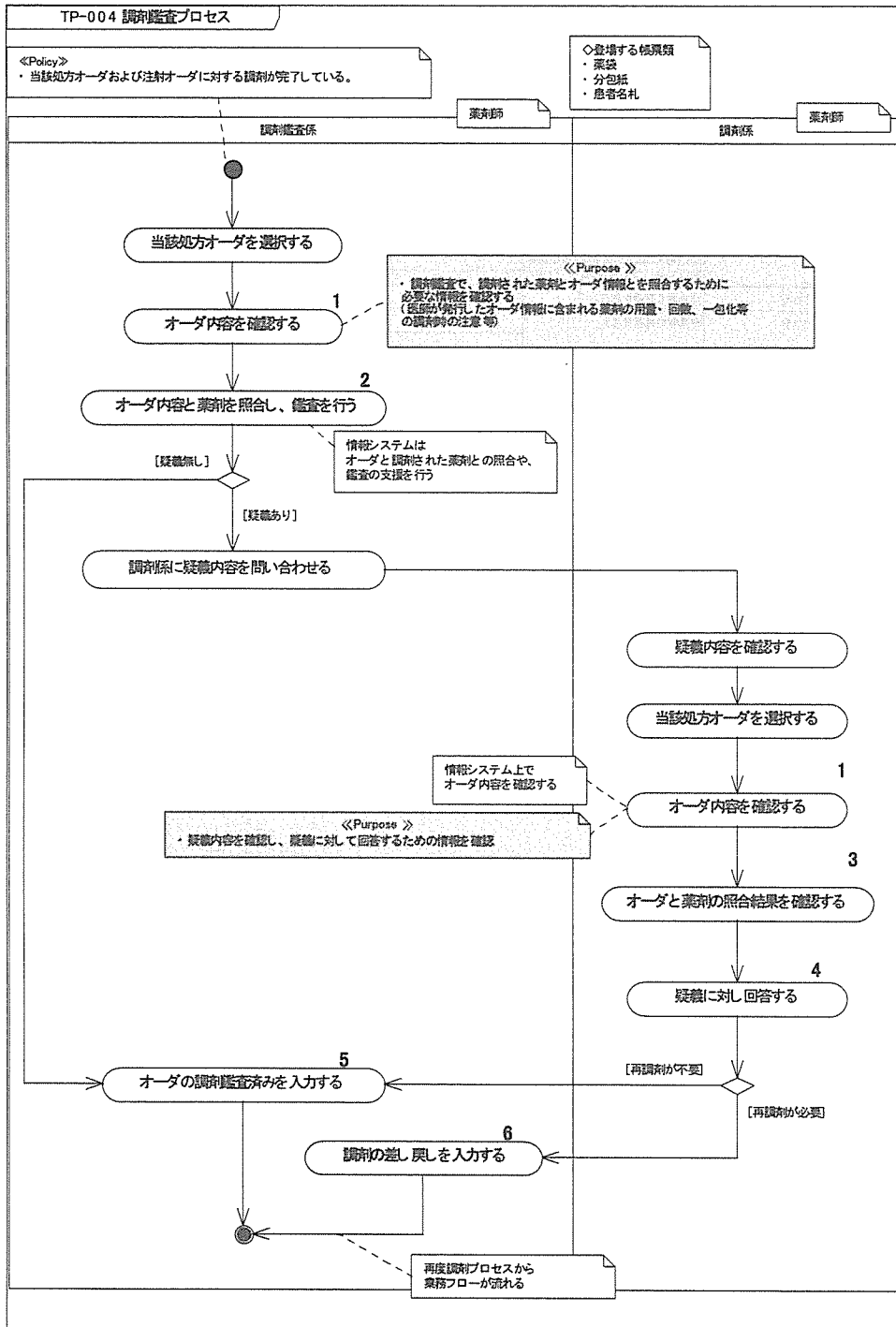
TP-002 処方鑑査プロセス(表)

種別	誤り	影響	課題	情報システム	対策	
1	内容を見逃す	処方鑑査を実施する上で重要な情報を確認できず、適切な処方鑑査ができない	見取りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする		
	内容を理解できない		知識・経験が不足している	ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
2	内容を見落とす	処方鑑査を実施する上で重要な情報を確認できず、適切な処方鑑査ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する		
	内容を見逃す		見取りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする		
3	内容を見落とす	<ul style="list-style-type: none"> 正確かつ十分な情報をもとにした処方鑑査を行えない 過去の診療情報からポイントを押さえた処方鑑査を行えない 	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する		
	内容を見逃す		見取りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする		
4	内容を理解できない	<ul style="list-style-type: none"> 投薬上の問題を見逃したまま薬剤の投与が行われる 薬剤の適正な効能・効果が得られない 	知識・経験が不足している	関連する情報を収集し、評価する機能を提供する	場面に応じた評価基準を明確にする	
	確認を忘れる		不注意による	注意を喚起する表示を行う	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する
5	内容を見落とす	<ul style="list-style-type: none"> 所定の手続きが行われていないまま薬剤が処方される 薬剤の不適切な使用につながる 	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する		
	確認を忘れる		作業状況が不適切である	作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
6	内容を見落とす	<ul style="list-style-type: none"> 疑義に回答する上で重要な情報を確認できず、適切な回答ができない 	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する		
	内容を見逃す		見取りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする		
7	内容を見落とす	<ul style="list-style-type: none"> 疑義に回答する上で重要な情報を確認できず、適切な回答ができない 	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する		
	内容を見逃す		見取りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする		
8	内容を見落とす	<ul style="list-style-type: none"> 疑義に回答する上で重要な情報を確認できず、適切な回答ができない 	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する		
	内容を見逃す		見取りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする		
9	内容を見逃す	<ul style="list-style-type: none"> 医師が変更すべきオーダが変更されないまま薬剤が投与される 変更する必要のないオーダが変更され、不適切な薬剤が投与される 	知識・経験が不足している	判断するための情報を収集し、提供する	場面に応じた判断基準を明確にしておく	
	内容を見逃す		不注意による	注意を喚起する表示を行う	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する
10	内容を見逃す	<ul style="list-style-type: none"> 医師が変更すべきオーダを変更できず、薬剤の処方業務が滞る 	作業状況が不適切である	作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
	内容を見逃す		不注意による	注意を喚起する表示を行う	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する
11	内容を見逃す	<ul style="list-style-type: none"> 処方鑑査の終了が記録されず、薬剤の処方業務が滞る 	作業状況が不適切である	作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
	内容を見逃す		不注意による	注意を喚起する表示を行う	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する

TP-003 調剤プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	内容を見誤る 内容を理解できない	処方・注射オードに含まれる重要な情報が確認できない	見誤りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする	
			知識・経験が不足している	ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
			用語や記載方法が不適切である	標準的な用語・記載方法を呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する
2	押印を忘れる 押印を怠る	管理に注意を要する薬剤であることが伝わらない(麻薬であることなど)	不注意による		作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		薬袋発行システムで薬袋ラベル発行時に印字する 他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない		薬袋発行システムで薬袋ラベル発行時に印字する 作業手順を明確にし、徹底する 薬袋発行システムで薬袋ラベル発行時に印字する
3	薬剤を取り違える 混濁する	・誤った薬剤が投与される ・院内が汚染される ・看護師自身が汚染される	作業時の確認を怠る		二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける
			類似した薬剤(名称、形態)を採用している		自動錠剤分包装(錠剤)やピッキングマシン(注射のアンブル)によって薬剤を取り揃える
			同じ薬剤で容量の異なるものがある		類似した薬剤は採用しない 保管場所や個別用の印などの工夫をする
4	計数を誤る	誤った用量の薬剤が投与される	作業時の確認を怠る		作業上の注意事項を周知する 二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける
5	計量を誤る	誤った用量の薬剤が投与される	作業時の確認を怠る		二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける 散剤監査システムを用いて計量する
6	異物が混入する	異物が投与される	環境が不適切である		作業に適した環境を用意する
			器械・器具の形状が不適切である		作業に適した形状の器具を使用する
			器械・器具の整備が不適切である		器械・器具・設備の保守・点検・清掃を助行する
7	混濁を怠る 清掃を忘れる	異物が混入する	作業時の確認を怠る		二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける
			作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
			不注意による		作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する 他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
8	貼り間違える	誤った薬剤または用量の薬剤が投与される	貼付物の発行方法、表示方法が不適切である(発行するタイミング、場所等)	業務フロー上、貼付しやすい場所、タイミングに合わせて貼付物を発行する機能を提供する	貼付するタイミングで貼付物を発行する 貼付する場所で貼付物を発行する
			作業方法が不適切である(複数の薬剤を同時に扱うなど)		誤りにくい作業手順を採用する
			不注意による		
9	押印を忘れる 押印を怠る	責任の所在が不明確になる	不注意による		作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
10	入力を忘れる 入力を怠る	調剤の終了が記録されず、薬剤の処方業務が滞る	不注意による	注意を喚起する表示を行う 当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
11	保管場所を誤る	・薬剤が見つからない ・異なる患者に投薬される	作業時の確認を怠る		二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける

TP-004 調剤鑑査プロセス



TP-004 調剤鑑査プロセス(表)

No.	誤り	影響	課題	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	内容を見誤る	処方・注射オードに含まれる重要な情報が確認できない	見誤りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする	
	内容を理解できない		知識・経験が不足している	ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
			用語や記載方法が不適切である	複層的な用語・記載方法呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する
2	対象となる物や情報の誤りを見逃す	・誤った薬剤が投与される ・異物の混入が見逃される ・薬剤の使用を誤る(誤った薬袋やラベルによって)	作業時の確認を怠る	容易で確実性の高い照合方法を提供する(バーコード、ICタグ等の活用)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
3	確認を忘れる	疑義の原因を把握できず、適切な回答することができない	不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
	作業状況が不適切である		確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える	
	確認を怠る		作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
	4	回答を忘れる	調剤鑑査済、もしくは差異しが入力できず、調剤鑑査業務が滞る	不注意による	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
	回答を怠る		作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
	5	回答を怠る		作業手順を守らない	作業手順を明確にし、徹底する
5	入力を忘れる	調剤鑑査の終了が記録されず、薬剤の処方業務が滞る	不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
	入力を怠る		当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える	
6	入力を忘れる	再調剤が行えず、薬剤の処方業務が滞る	不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
	入力を怠る		当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える	
			作業状況が不適切である		作業手順を明確にし、徹底する
			作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する

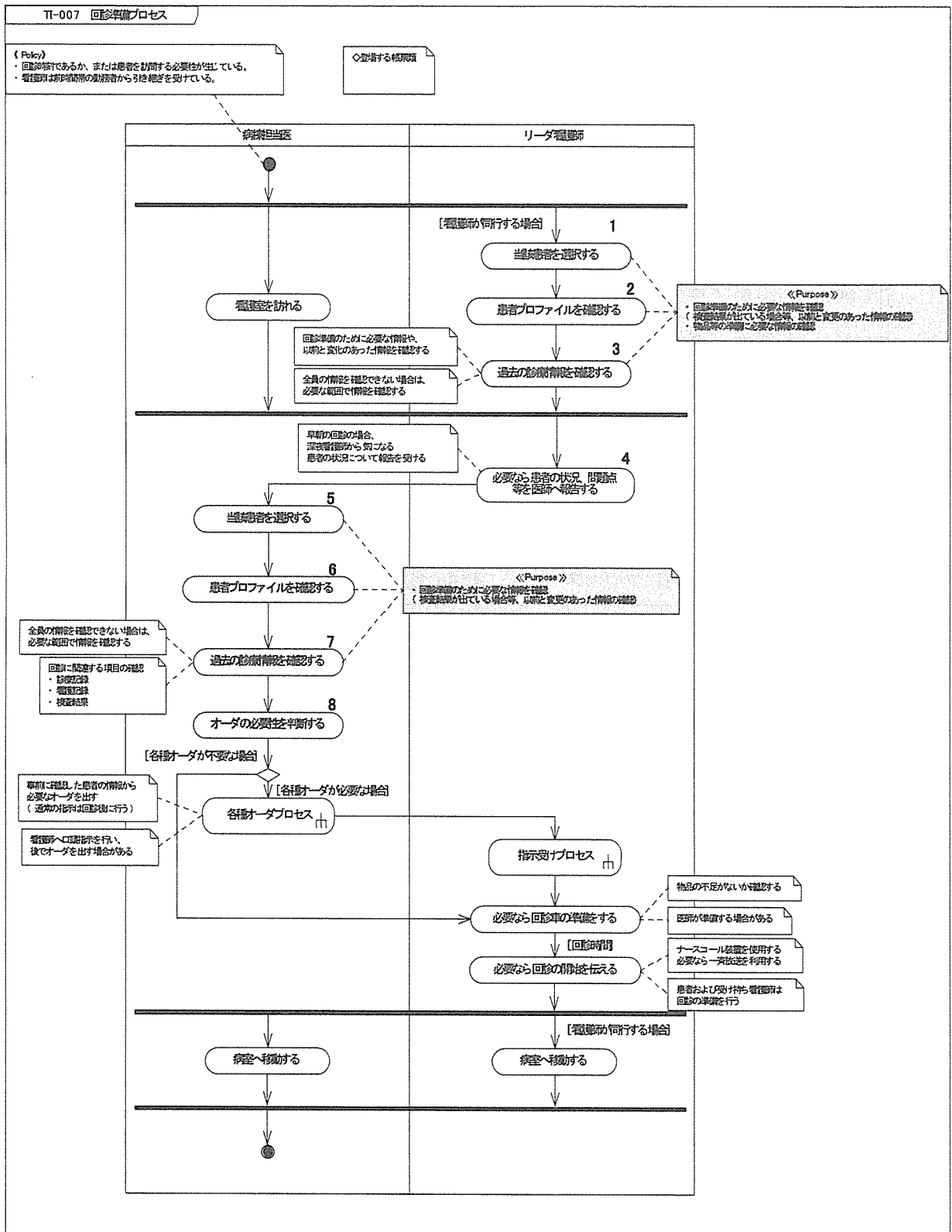
5 業務プロセス分析表（手術業務）

業務プロセス分析表一覧（手術業務）

ID	プロセス名	ID	プロセス名
TI-007a	回診準備プロセス	TS-007	手術室入室プロセス
TI-008a	回診プロセス	TS-008	術前処置プロセス
TI-009a	回診後プロセス	TS-009	手術実施プロセス
TI-016	各種オーダープロセス	TS-010	手術実施(異状対応)プロセス
TI-017a	指示受けプロセス	TS-011	手術実施(検査対応)プロセス
TI-030a	手術オーダープロセス	TS-012	手術実施後プロセス
TI-031	指示受け(手術)プロセス	TS-013	手術室退室プロセス
TI-032a	手術オリエンテーションプロセス	TS-014	術後訪問プロセス
TI-033a	手術準備(前日)プロセス	TS-015	薬剤請求プロセス
TI-034a	手術準備(当日)プロセス	TS-016	物品請求プロセス
TI-035	移動介助(術前)プロセス	TS-017	中心静脈カテーテル挿入プロセス
TI-036	移動介助(術後)プロセス	TS-018	肺動脈カテーテル挿入プロセス
TI-037a	術後プロセス	TS-019	胃管挿入プロセス
TS-001	手術申込プロセス	TS-020	膀胱カテーテル挿入プロセス
TS-002	手術室・設備確定プロセス	TS-021	硬膜外麻酔導入プロセス
TS-003	手術要員確定プロセス	TS-022	腰椎麻酔導入プロセス
TS-004	手術計画プロセス	TS-023	全身麻酔導入プロセス
TS-005	術前訪問プロセス	TS-024	全身麻酔覚醒プロセス
TS-006	手術室準備プロセス		

※一覧表のうち、IDの末尾に「a」が付いたものは、「電子カルテ導入における標準的な業務フローモデルに関する研究」の成果物に一部変更を加えたプロセスである。

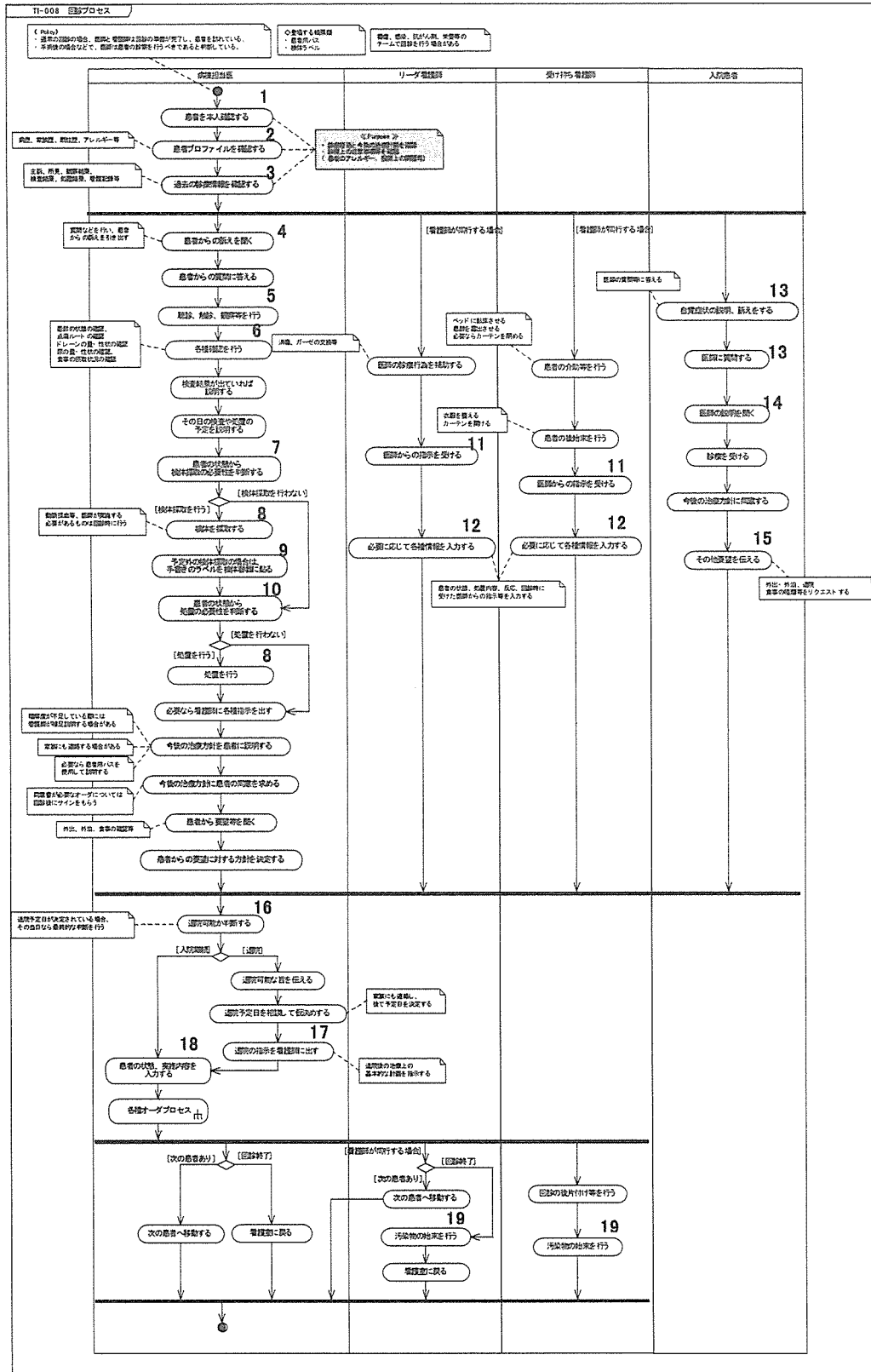
TI-007a 回診準備プロセス



TI-007a 回診準備プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	情報不足	対策
1	選択を誤る	目的の患者の診療情報が表示されない 他の患者の診療情報が表示される	類似した選択候補が複数表示されている	類似する候補との識別が可能な情報を合わせて表示する 特に類似した項目がある場合は、それに合わせた表現とする(同じ同名を知らせる等) 項目を選択した際に、より詳細な情報を表示し、確認を促す	
			選択時の操作性が悪い	選択を誤りにくい操作法を採用する	
2	内容を見落とす 内容を見逃す 確認を忘れる	病歴、アレルギー等、診療上の注意点を押さえた回診ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見取りやすい表示方法である	操作目的上必要な情報を強調して表示する	
			不注意による	大きさや色、配置等を工夫した表示をする 注意喚起する表示を行う 確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える
	確認を怠る		作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
3	内容を見落とす 内容を見逃す 確認を忘れる 知るべきことを知ることができない 内容を理解できない	医師への報告に遅れが発生する 回診時に必要な物品を確保できない 過去の診療情報からポイントを押さえた診療ができない 患者の状態を十分に把握した診療ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見取りやすい表示方法である	操作目的上必要な情報を強調して表示する	
			不注意による	大きさや色、配置等を工夫した表示をする 注意喚起する表示を行う 確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える
			作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			思考過程に合っていない表示方法である	利用者の目的に合ったビュー(情報の見え方)を提供する	
	知識・経験が不足している	ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う		
	用語や記載方法が不適切である	標準的な用語・記載方法呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する		
	共通認識となっていない知識を要求する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示等)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う		
4	内容を誤る 内容が不足する 伝達を忘れる 伝達を怠る	回診時、即座に最新の患者状態に応じた対応ができない 回診時に必要な物品を確保できない	思い違いによる	周辺情報も合わせて伝え、内容に矛盾がないか確認できるようにする	
			口頭でのみ伝達している	重要度の高い情報は、情報システムによる伝達を行う	
			不注意による	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する	
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
	確認を怠る		作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
5	選択を誤る	目的の患者の診療情報が表示されない	類似した選択候補が複数表示されている	類似する候補との識別が可能な情報を合わせて表示する 特に類似した項目がある場合は、それに合わせた表現とする(同じ同名を知らせる等) 項目を選択した際に、より詳細な情報を表示し、確認を促す	
			選択時の操作性が悪い	選択を誤りにくい操作法を採用する	
6	内容を見落とす 内容を見逃す 確認を忘れる	病歴、アレルギー等、診療上の注意点を押さえた回診ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見取りやすい表示方法である	操作目的上必要な情報を強調して表示する	
			不注意による	大きさや色、配置等を工夫した表示をする 注意喚起する表示を行う 確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える
	確認を怠る		作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
7	内容を見落とす 内容を見逃す 確認を忘れる 知るべきことを知ることができない 内容を理解できない	診療時、即座に最新の患者状態に応じた対応ができない 過去の診療情報からポイントを押さえた診療ができない 患者の状態を十分に把握した診療ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見取りやすい表示方法である	操作目的上必要な情報を強調して表示する	
			不注意による	大きさや色、配置等を工夫した表示をする 注意喚起する表示を行う 確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える
			作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			思考過程に合っていない表示方法である	利用者の目的に合ったビュー(情報の見え方)を提供する	
	知識・経験が不足している	ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う		
	用語や記載方法が不適切である	標準的な用語・記載方法呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する		
	共通認識となっていない知識を要求する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示等)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う		
8	判断を誤る	患者への対応が遅れてしまう	知識・経験が不足している	判断するための情報を収集し、提供する	場面に適した判断基準を明確にしておく

TI-008a 回診プロセス



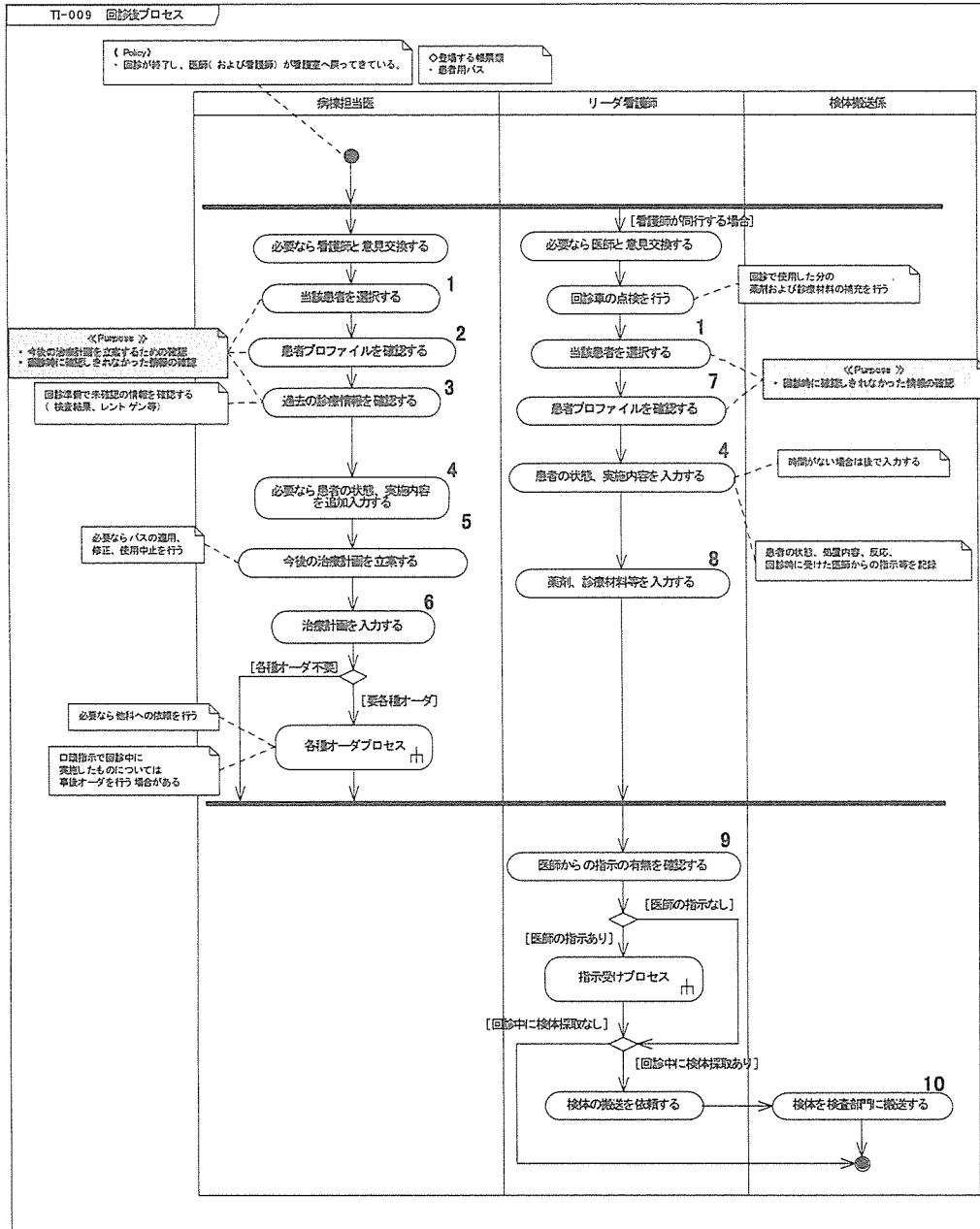
TI-008a 回診プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	本人確認を誤る	別の患者に対して診療が行われる	記憶のみに頼った本人確認をする	容易で確実性の高い照合方法を提供する(バーコード、ICタグ等の活用)	二重チェック、あるいはペーパーによるチェックを義務付ける
	本人確認を怠る		不十分な情報で本人確認を行う	容易で確実性の高い照合方法を提供する(バーコード、ICタグ等の活用)	患者に氏名等の識別可能な情報を伝えてもらう 二重チェック、あるいはペーパーによるチェックを義務付ける 患者に氏名等の識別可能な情報を伝えてもらう 作業手順を明確にし、徹底する
2	内容を見落とす	病歴、アレルギー等、診療上の注意点を押さえた診療ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
	内容を見逃す		見逃しやすい表示方法である	操作目的上必要な情報を強調して表示する	
	内容を見逃す 確認を怠る		不注意による	大ききや色、配置等を工夫した表示をする 注意喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
	確認を怠る		作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える
3	内容を見落とす	・正確かつ十分な情報をもとにした診療ができない ・患者の状態を十分に把握した診療ができない ・過去の診療情報からポイントをおさえた診療ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
	内容を見逃す		見逃しやすい表示方法である	操作目的上必要な情報を強調して表示する	
	確認を怠る		不注意による	大ききや色、配置等を工夫した表示をする 注意喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
	知るべきことを知ることができない		作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える
	内容を理解できない		思考過程に沿っていない表示方法である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
4	誤って認識する	・患者の状態を誤って把握したまま診療が行われる ・患者の状態を十分に把握した診療ができない	受領時の確認を怠る		新入りの内容の理解に誤りがないか患者に確認する
	内容を理解できない		知識・経験が不足している 内容が不足する	勉強会の開催等を行う 習熟者が情報伝達のサポートを行う	
5	観察を怠る	誤った観察結果に基づく治療計画の立案が行われる	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
	観察を怠る		不注意による	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する	
	異状を見落とす		作業状況が不適切である	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える	
6	確認を怠る	・患者の状態を把握されない ・異状が認識されないまま診療が行われる	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
	確認を怠る		知識・経験が不足している	知識・経験を持った職員がサポートする	
7	判断を誤る	必要な検体採取が行われない	知識・経験が不足している		場面に応じた判断基準を明確にしておく
	処置方法や部位を誤る		知識・経験が不足している	勉強会の開催等を行う	
8	貼り間違える	・必要な検査が行われない ・別の患者の検体として扱われる	作業時の確認を怠る		知識・経験を持った職員がサポートする
	判断を誤る		注射前の確認作業が不十分である	二重チェック、あるいはペーパーによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する	
9	貼り間違える	・必要な検査が行われない ・別の患者の検体として扱われる	作業方法が不適切である(複数の検体を同時に扱うなど)		誤りにくい作業手順を採用する
	判断を誤る		知識・経験が不足している	場面に応じた判断基準を明確にしておく	
10	誤って認識する	・指示内容と異なる看護行為が行われる ・指示された看護行為が行われない	受領時の確認を怠る		指示された内容の理解に誤りがないか医師に確認する
	内容を理解できない		知識・経験が不足している	勉強会の開催等を行う	
11	内容を見落とす	誤った情報に基づいた診療が行われる 情報不足のまま診療が行われる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
	内容が不足する		入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	勉強会の開催等を行う
	入力を見逃す		知識・経験が不足している	迅速に入力できるような操作性を表現する	
	入力を見逃す 表現が不適切である		入力に十分な時間がかけられない	作業環境に適合する入力装置を用意する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
12	内容が不足する	患者の状態を十分に把握した診療ができない	医師に遠慮している	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	当事者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		医師を信頼していない	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う 当事者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		伝達内容がうまく表現できない	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う 看護師が情報伝達のサポートを行う
	情報を見逃す		伝達しにくい環境である	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	当事者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		相手に恐怖心を抱いている	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う 当事者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		相手に恐怖心を抱いている	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う
13	誤って認識する	・患者の理解が不十分なまま診療が行われる ・不十分な理解のもとでの同意が行われる	受領時の確認を怠る		受領した内容の理解に誤りがないか医師に確認する
	内容を理解できない		情報の内容が難解である	患者説明用の画面を表示する	患者に合わせた難易度で表現する
14	内容が不足する	入院生活上、支障をきたす	医師に遠慮している	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	医師と患者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		医師を信頼していない	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う 医師と患者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		伝達内容がうまく表現できない	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う 看護師が情報伝達のサポートを行う
	情報を見逃す		伝達しにくい環境である	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	当事者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		相手に恐怖心を抱いている	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う 医師と患者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	情報を見逃す		相手に恐怖心を抱いている	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う

TI-008a 回診プロセス(表)

16	判断を誤る	・食事、注射の中止等の指示に影響が出る ・過剰可能な患者が退院できない ・退院できない患者が誤検してしまう	知識・経験が不足している	判断するための情報を収集し、提供する	場面に応じた判断基準を明確にしておく	
17	内容を誤る	食事、注射の中止等の指示に影響が出る	思い違いによる		伝達した内容に誤りがないか確認後に確認する	
	伝達を忘れる		不注意による	作業状況が不適切である	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する 他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える	
18	伝達を誤る	・誤った入力内容に基づいた診療が行われる ・情報が不足したまま診療が行われる	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する	
	内容を誤る		入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する		
	内容が不足する		入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う		
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う	
	入力を忘れる		入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する	
			不注意による	作業環境に適合する入力機器を用意する	注意を喚起する表示を行う	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
	入力を怠る		作業状況が不適切である	作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			表現が不適切である	作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
19	感染手順・方法を誤る	・他の場所や患者が汚染される ・看護員自身が汚染される	用語や記載方法が不適切である	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する	
			共通認識になっていない内容を入力する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
			作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する	
			感染場所・方法が分かりにくい		取扱マニュアルを作成し、周知する	
			知識・経験が不足している		取扱マニュアルを作成し、周知する	

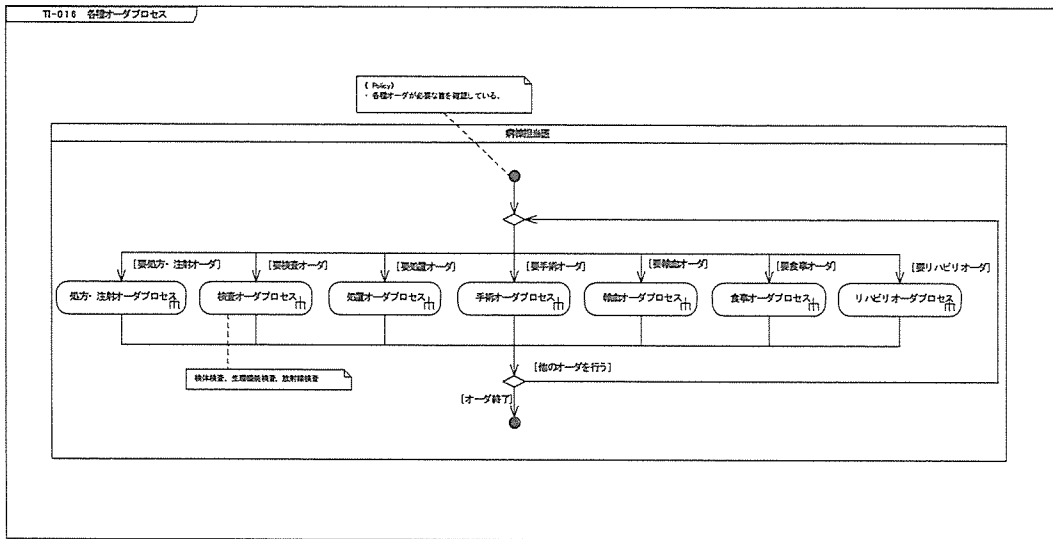
TI-009a 回診後プロセス



TI-009a 回診後プロセス(表)

No.	誤り	影響	課題	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	選択を誤る	・別の患者に対して治療計画の立案が行われる ・別の患者に対して薬指入力が行われる	類似した選択候補が複数表示されている	類似する候補との識別が可能な情報を合わせて表示する	
			選択時の操作性が悪い	選択を促す表示を行う	
2	内容を見落とす 内容を見誤る 確認を忘れる	病歴、アレルギー等、診療上の注意点を押さえた治療計画にならない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見誤りやすい表示方法である	大きさを色、配置等を工夫した表示をする	
			不注意による	注意喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないときに進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
3	内容を見落とす 内容を見誤る 確認を忘れる 知るべきことを知ることができない 内容を理解できない	・正確かつ十分な情報をもとにした治療計画の立案ができない ・過去の診療情報からポイントを押さえた治療計画を立案することができない ・患者の状態を十分に把握した診療ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見誤りやすい表示方法である	大きさを色、配置等を工夫した表示をする	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			不注意による	注意喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないときに進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
4	内容を見誤る 内容が不足する 入力を忘れる 入力を怠る 表現が不適切である	・誤った情報に基づいた診療が行われる ・不足した入力内容に基づいた診療が行われる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
5	誤った計画を立てる	誤った計画に基づいた診療が行われる	知識・経験が不足している	計画の枠組みを表示する機能を提供する	計画の枠組みを用意する
			入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
6	内容を見誤る 内容が不足する 入力を忘れる 入力を怠る	・誤った入力内容に基づいた診療が行われる ・情報が不足したまま診療が行われる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
7	内容を見落とす 内容を見誤る 確認を忘れる 確認を怠る	・誤った入力内容に基づいた看録が行われる ・情報が不足したまま看録が行われる	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見誤りやすい表示方法である	大きさを色、配置等を工夫した表示をする	
			不注意による	注意喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないときに進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
8	内容を見誤る 内容が不足する 入力を忘れる 入力を怠る	正確な会計ができない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
9	内容を見落とす	適切なタイミングで診療ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見誤りやすい表示方法である	大きさを色、配置等を工夫した表示をする	
			不注意による	注意喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないときに進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
10	実行する 破損する 搬送を忘れる 搬送を怠る 搬送先を間違える	・検査ができない ・再度検体採取が必要となる	搬送手段が不適切である	取扱いマニュアルを作成し、周知する	
			搬送手段が不適切である	取扱いマニュアルを作成し、周知する	
			不注意による	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないときに進めないよう制御する	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する

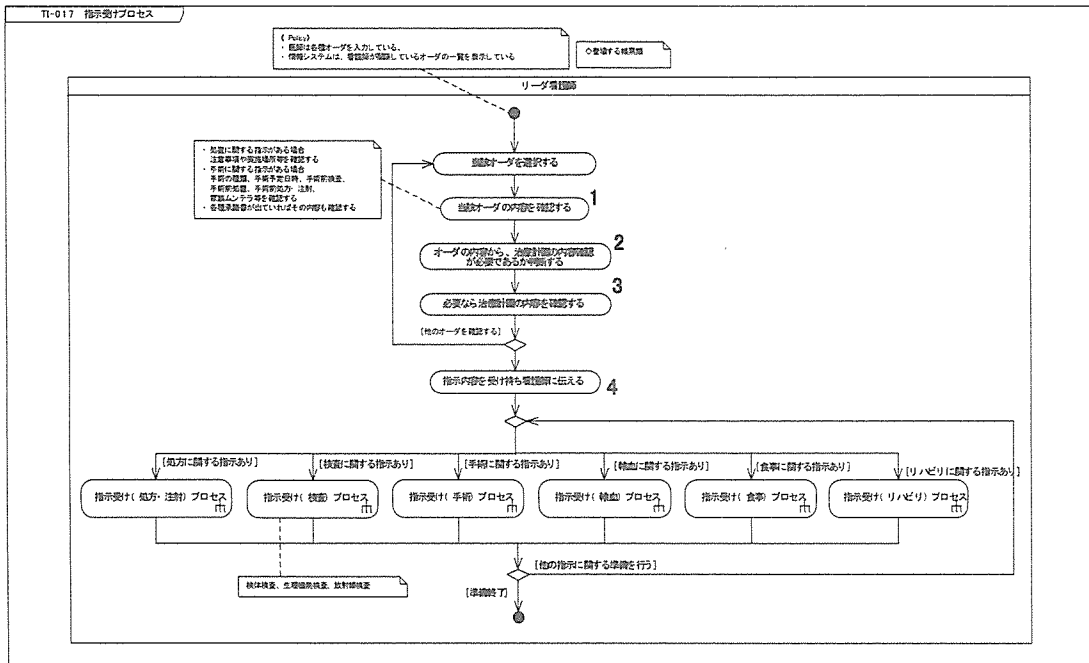
TI-016a 各種オーダープロセス



TI-016a 各種オーダープロセス(表)

No.	課V	部署	原簿	対象	
				情報システム	情報システム以外

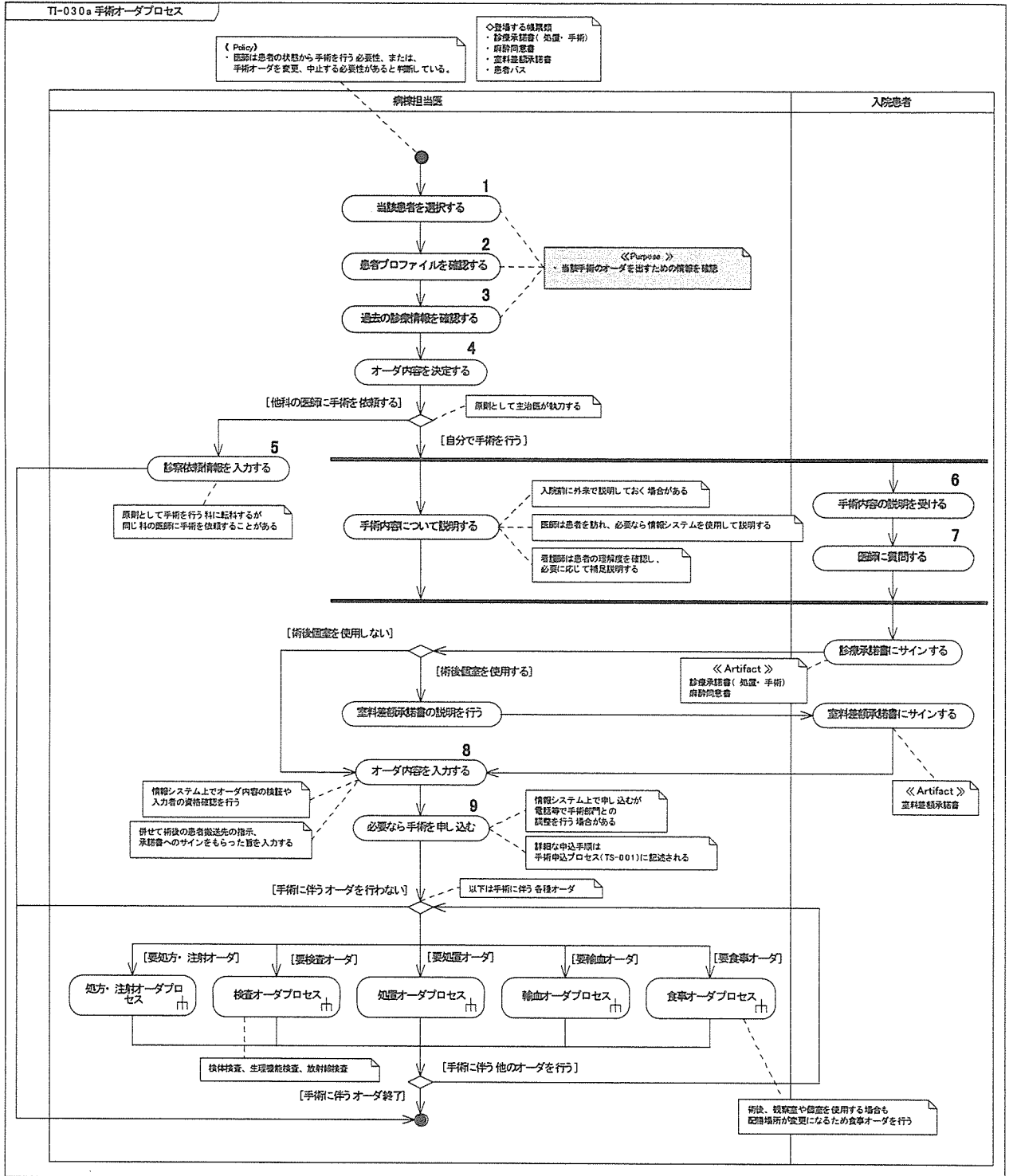
TI-017a 指示受けプロセス



TI-017a 指示受けプロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	内容を見誤る 確認を忘れる	指示に対して、適切な看護が実施できない	見誤りやすい表示方法である 不注意による	大きさや色、配置等を工夫した表示をする	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
				注意を喚起する表示を行う	
	作業状況が不適切である		確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える	
	作業手順を守らない		確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する	
	知識・経験が不足している		ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
	用語や記載方法が不適切である 共通認識になっていない知識を要求する		標準的な用語・記載方法を選び出す機能を提供する 共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
	内容理解できない				
2	判断を誤る	治療計画に基づく看護が実施できない	知識・経験が不足している	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	画面に応じた判断基準を明確にしておく
3	内容を見落とす 確認を忘れる	治療計画に基づく看護が実施できない	他の情報に埋もれてしまっている	操作目的に必要な情報を強調して表示する	
				見誤りやすい表示方法である 不注意による	大きさや色、配置等を工夫した表示をする
	作業状況が不適切である		確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を整える	
	作業手順を守らない		確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する	
	知識・経験が不足している		ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
	用語や記載方法が不適切である 共通認識になっていない知識を要求する		標準的な用語・記載方法を選び出す機能を提供する 共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
	内容理解できない				
4	内容を誤る 内容が不足する 伝達を忘れる	指示に対して、適切な看護が実施できない	思い違いによる	伝達した内容に誤りがないか医師に確認する	
			口頭でのみ伝達している	重要度の高い情報は、情報システムによる伝達を行う	
	不注意による		作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する		
	作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える		
	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する		

TI-030a 手術オーダープロセス



TI-030a 手術オーダプロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	選択を誤る	当該患者に手術オーダが出せない 他の患者に手術オーダが出される	類似した選択候補が複数表示されている	類似する候補との識別が可能な情報を合わせて表示する	
			選択時の操作性が悪い	選択を誤りにくい操作法を採用する	
2	内容を見落とす 内容を見損ねる 確認を忘れる	病歴、アレルギー等、診療上の注意点を押さえた手術オーダができない	他の情報に埋もれてしまっている	選択結果が明確に分かるような表示方法を採用する	
			見取りやすい表示方法である	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			不注意による	操作目的に必要な情報を強調して表示する 大きさや色、配置等を工夫した表示をする 注意を喚起する表示を行う 確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を築く
3	内容を見落とす 内容を見損ねる 確認を忘れる 知るべきことを知ることができない 内容を理解できない	正確かつ十分な情報をもとにした手術オーダをすることができない 患者の状態を十分に把握した上で手術オーダをすることができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞り込んで表示する	
			見取りやすい表示方法である	操作目的に必要な情報を強調して表示する	
			不注意による	大きさや色、配置等を工夫した表示をする 注意を喚起する表示を行う 確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制する等、当該作業に集中できる環境を築く
			作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			思考過程に合っていない表示方法である	利用者の目的に合ったビュー(情報の見え方)を提供する	
			知識・経験が不足している	ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
4	判断を誤る	誤った内容の手術が実施される	知識・経験が不足している	標準的な用語・記号方法を呼び出す機能を提供する 共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等) 判断するための情報を収集し、提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う 場面に応じた判断基準を明確にしておく 重要な判断項目についてはカンファレンスにより、方針を決定する
			入力時の操作性が悪い	入力を選択しにくい操作法を採用する	
5	内容を見損ねる 内容が不足する 入力を忘れる 入力を怠る	誤った入力内容に基づいた診療が行われる 情報が不足したまま診療が行われる 手術の実態が後れる	入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する 作業環境に適合する入力機器を用意する	入力代行者などの職員を配置する
			不注意による	注意を喚起する表示を行う 当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する
6	誤って認識する 内容を理解できない	患者の理解が不十分なまま手術が行われる 術前・術後の留意事項に、患者が適切に対応できない	受領時の確認を怠る		受領した内容の理解に誤りがないか医師に確認する
			情報の内容が難解である		患者に合わせた難易度で表現する 看護師が情報伝達のサポートを行う
			内容が不足する	患者説明用の画面を表示する	看護師が情報伝達のサポートを行う
7	内容が不足する	患者の理解が不十分なまま手術が行われる 術前・術後の留意事項に、患者が適切に対応できない	医師に遠慮している	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	当事者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
			医師を信頼していない	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	看護師が情報伝達のサポートを行う
			伝達内容をうまく表現できない		看護師が情報伝達のサポートを行う
8	内容を見損ねる 内容が不足する	誤った内容の手術が実施される 不足した情報に基づく手術が行われる	入力時の操作性が悪い	入力を選択しにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する 迅速に入力できるような操作性を実現する 作業環境に適合する入力機器を用意する	勉強会の開催等を行う 入力代行者などの職員を配置する
9	内容を見損ねる 内容が不足する 入力を忘れる 入力を怠る	誤った部屋や設備が確保される 必要な部屋や設備が確保されない	入力時の操作性が悪い	入力を選択しにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する 迅速に入力できるような操作性を実現する 作業環境に適合する入力機器を用意する	勉強会の開催等を行う 入力代行者などの職員を配置する
			不注意による	注意を喚起する表示を行う 当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業忘れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する